

経営協議会議事録  
(平成27年度第1回)

平成27年5月22日（金）  
13時00分から14時47分まで  
事務局3階「第一会議室」

議事

I 協議事項

- 1 山形大学の大学改革及び小白川キャンパス再編統合の基本的な考え方について
- 2 平成28年度概算要求事項等について
- 3 平成26年度の実績に係る組織評価の実施について
- 4 学長選考会議委員の選出について
- 5 教員ポイントの部局別削減数及び教職員採用計画について

II 報告事項

- 1 第2期中期計画変更の認可について
- 2 第3期中期目標・中期計画(案)の策定状況について
- 3 平成27年度の入学試験実施状況について
- 4 Annual Plan 2015について
- 5 平成26年度長期借入金償還状況について
- 6 平成26年度財務状況について（速報版）
- 7 平成27年度労使協定の締結について
- 8 就職決定状況（平成26年度最終）について

III その他

- 1 組織評価について
- 2 次回開催（6月22日（月））について

出席者

議長	小山清人					
委員	相澤益男	黒田昌裕	園部 稔	高橋まゆみ	吉本高志	
	深尾 彰	安田弘法	大場好弘	阿部宏慈	萩原 均	久保田 功
監事	斎藤亮一	山下 貴				

欠席者 有馬朗人 上田準二 町田 睿

列席者 総務部長 企画部長 財務部長 施設部長 教育・学生支援部長  
EM部長 医学部事務部長 工学部事務部長 小白川キャンパス事務部長  
総務課長 財務課長 経理課長

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告の後、前回議事録が確認された。

## I 協議事項

### 1 山形大学の大学改革及び小白川キャンパス再編統合の基本的な考え方について

議長から、学長として考える本学の中長期戦略、それに基づき実施する大学改革(平成27～29年度)の基本姿勢、基本的な方向性及び構想の考え方、並びに大学改革戦略室で検討を行っている小白川キャンパス再編統合の基本的な考え方等に関して、資料6に基づき説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・少子化を受けて、山形県の人口、特に地元の高校生がいかに地元の大学に進学するようになるのか大事である。中長期計画についても、山形大学に進学する魅力のあるものでなければならない。地元の高校生に分かりやすく示せるものにしていただきたい。(園部委員)
- ・平成50年までの中長期戦略の構想を、いかにコンセンサスと継続性のあるものにするかが重要である。また、学生総数の20%減を基本とする点に関しては、もう少し慎重に検討を進める必要がある。(吉本委員)
- ・平成50年には18歳人口が40%減少予定であり、その人口減に対して早期に対応していく必要がある。(議長)
- ・小白川3学部の再編の基本的な考え方は、将来構想として、3学部の連携により、教員養成と合わせて、理系と文系も理解する人材を育成するという発想か。(黒田委員)
- ・3学部の強みと特色を生かして、将来的に1つに統合していく。(議長)
- ・教員養成は重要だが、将来、社会に貢献する教員を輩出するために、本改革案は何がキーとなるのか。(黒田委員)
- ・現在、山形県で採用される小学校教員の約25%が山形大学出身者である。今後の人口減少に伴い教員数が減少することも予想されるが、山形県から優秀な教員を育成して欲しいとの要望がある。18歳人口が首都圏に流れる中、教員養成系にターゲットを絞って、山形県の高校生が入学する仕組みを附属学校をうまく活用しながら、山形県と一緒に検討を進める予定である。(議長)

- ・理系、文系を区分すること自体が古い発想となっており、せっかく思い切った再編統合を行うのであれば、小白川3学部の良さを活かした改革にしていきたい。  
(黒田委員)
- ・今回、理系、文系、教員養成系という形で整理はしたが、将来的には統合する方向で考えている。今回の整理は、最初の1ステップとして分かりやすくしたものである。  
(議長)
- ・統合する方向であれば、1ステップ目から工夫した方が良いのではないかと。  
(黒田委員)
- ・学生20%減を見据える一方で、教員はどうなるのか。学生を20%減とした場合の経営上のメリット、デメリットが不明であり、どういうモデルを描いているのか。  
(相澤委員)
- ・18歳人口の減を意識して大学改革を推進しなければならない。学生ニーズと社会ニーズそして地方創生も強く意識していく必要がある。経営面では、運営費交付金の1%減が続く中、人件費を減らしていかざるを得ない。そのため、4月から教育組織と教員組織を分離し、教員組織の一元化として学術研究院を設置した。教員組織を人的な経営的戦略資源として捉え検討している。(議長)
- ・大学は教育が重要であるが、教育をするためには研究も多様に行っていく必要がある。学部教育だけではなく、大学院教育についてもどのような特徴を出していくかということが重要である。ただ教育プログラムを改編して、学生を20%減に対応して教員も減らすということになりはしないか。(黒田委員)
- ・出来るだけ教員を減らさない方向で検討していく。(議長)
- ・人力的なことより、大学としてどのような特徴を、どの部分に出していくのかが重要である。(黒田委員)
- ・山形大学の特徴は、山形県内に4キャンパスが分散していることであり、これを一つのウリにしていきたい。また、各キャンパスが独立した形で運営できる仕組みを作っていきたい。特徴は各キャンパス毎に出していく。今回の再編案については、まず小白川キャンパスにおける特徴を作ることである。(議長)

上記の質疑応答の後、議長から、本件について諮られ、資料に示す本学の改革の方向性及び小白川キャンパスの再編統合の基本的考え方等が了承された。

## 2 平成28年度概算要求事項等について

萩原委員から、本件について、施設整備費に係る一般事業及び病院事業、並びに施設費（営繕事業）に関して、資料1-1に基づき説明があった。

また同委員から、今後の運営費交付金の在り方、国立大学の機能強化の方向性等に応じた3つの重点支援の枠組みの概要及び平成28年度概算要求に関して、資料1-2、参考資料1、参考資料2に基づき報告があり、本学としては重点支援①で機能強化を行う方向で検討を進めている旨説明があった。今後文部科学省との検討を行い、最終的な調整は学長に一任することとしたい旨、付言があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・重点支援について、学内のどのような議論の中で重点支援①にしたのか。（吉本委員）
- ・分野別や学部別でみた場合、重点支援②や③も可能であるが、大学全体として選択する必要があるため、山形大学の強みを最も活かせるのは重点支援①ということで、大学改革戦略本部会議、教育研究評議会及び役員会等で検討した。（議長）
- ・教育、研究のビジョンが示された上で、いかに予算を効率的に使うかならば筋が通る。しかし、今回は予算の話が先に来て、ビジョンの実現がないのでは。（黒田委員）

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

## 3 平成26年度の実績に係る組織評価の実施について

深尾委員から、本件について、次回6月22日（月）開催の本会の後、各部局からヒアリングを実施する予定である旨及びその方法について、資料3に基づき説明があった。また昨年度からの変更点として、評価結果に基づくインセンティブ経費の増額及び評価方法の変更点について説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・この組織評価はどのくらい続けているのか。（相澤委員）
- ・今年度多少方法を変えたが、6年間は概ね同じ方法で行っている。（議長）
- ・評価結果に基づくインセンティブを配分することでどのような効果があったのか検証は行っているか。（相澤委員）
- ・インセンティブ経費配分後の効果については、各部局長が評価を行っている。評価方法は、各部局長から様々な意見があり、今回、変更を行った。（議長）
- ・評価方法の工夫は必要かもしれないが、この評価方法が効果的であるという全体評価ができるのか。（相澤委員）
- ・各学部がそれぞれ特徴を競い合って大学全体が良くなる。その方向には向かっていると認識している。（議長）

上記の質疑応答の後、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

## 4 学長選考会議委員の選出について

議長から、本件については、本学学長選考会議規程第3条第1項第1号に基づき、本学学外委員8人の中から7人を選出することとなっている旨、資料4に基づき説明があり、当該選出にあたっては、委員就任の早い順、また、同じ就任時期の委員であれば年長者とする旨提案があり、審議の結果、有馬委員、上田委員、黒田委員、園部委員、高橋委員、町田委員及び吉本委員の7人を選出することで了承された。

## 5 教員ポイントの部局別削減数及び教職員採用計画について

阿部委員から、本件について、運営費交付金削減に係る人件費の削減に関して、教員ポイントの部局別削減数及び職員の削減人数の計画を、資料5のとおり策定した旨、説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・医学部附属病院では、医師及び看護師の養成に加え、地域医療を担いながら、国や県からの様々な要望に応じている。病院運営に最大限努力している中で、各部局に一律で7年間削減するという案は現実的には厳しい部分がある。(久保田委員)
- ・運営費交付金が削減される中、運営費交付金での人件費についても削減する必要がある。今後、運営費交付金の他に、病院収入や外部資金等により必要な人員を雇用していく方向での検討が必要である。(議長)
- ・資料6の中長期計画の中に、今回の削減は反映されているのか。(相澤委員)
- ・中長期計画においても、この運営費交付金の削減が基本となっている。(議長)
- ・学生定員の削減に対応し、教職員数も削減することになるのか。(相澤委員)
- ・教育組織と教員組織を分離し、学術研究院を設置したが、新たな収入源を確保していく必要がある。(議長)
- ・先ほどの重点支援の中で、運営費交付金が増額されたり、削減されたりするという話があったが、これについては想定しているのか。(吉本委員)
- ・運営費交付金が増えたからといって人件費を増やすのは難しい。運営費交付金が継続的に増えるのであれば、人件費をプラスしていくという考え方もあるが、年度毎に人件費を上下させることは想定していない。(議長)
- ・人件費削減が必要なことはわかるが、一律に行うのはいかがか。恒常的に良い教育を行うことも厳しいのではないか。(園部委員)
- ・この削減数は1つの基準である。教育の効率化とともに選択を迫られている。(議長)
- ・人数を減らす、給与体系を変えるということで対応するのか(黒田委員)
- ・給与体系は変えられないため、人数を確保したい場合は、各部局長の判断で、教授ではなく准教授や助教を採用することでの対応になる。(議長)
- ・通常、企業経営における人件費削減であれば、何をやりたいかということに焦点を当てながら行わないといけない。そうでなければ、給与体系そのものを変えることになる。人数を一律で削減するとなれば、特徴の出しようがない。結果的にできることができなくなりかねない。(黒田委員)
- ・選択と集中は必要であるが、一気にではなく徐々に行うしかない。現在、年俸制の導入で少しずつ給与体系を変えているところである。(議長)
- ・年俸制とともに、クロスアポイントメント制度によって人件費を削減する、外部資金により人件費を支出することを検討している。  
(大場委員)
- ・事務系職員についてはどのような進め方になるのか。(相澤委員)
- ・運営費交付金の削減率と同じパーセントで人数を減らすことを検討している。仕事を減らすことで対応する。今年度から各部長に労働生産性を考慮するように指示している。  
(議長)
- ・具体的にはどのように減らすのか。人員を減らすために何をするかという方向性を出さないといけない。(園部委員)
- ・仕事の絶対量を減らすことである。今後、業務を更に整理して、必要不可欠なものに絞っていきたい。(議長)

- ・資料の表の作り方について、医学部長と医学部附属病院長が分かれていない。病院の職員がいるので、人数が多くなる。分かりやすくした方が良い。(吉本委員)
- ・医学部附属病院のため、医学部長が部局長である。表の作り方は、今後検討する。  
(議長)

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

## II 報告事項

### 1 第2期中期計画変更の認可について

深尾委員から、本件について、「年俸制の導入」及び「学術研究院の設置」の変更について認可があった旨、資料7-1、7-2に基づき報告があった。

### 2 第3期中期目標・中期計画(案)の策定状況について

深尾委員から、本件については、山形大学将来構想に基づき評価分析室にて、資料8-1のとおり素案作成を行っている旨、報告があった。また、文部科学省との事前相談内容及びその指摘事項に関して、資料8-2に基づき報告があった。

### 3 平成27年度の入学試験実施状況について

大場委員から、本件について、平成27年度入学試験実施状況に関して、資料9に基づき報告の後、学部入試については3倍を確保できた旨及び、大学院については定員充足率が90%を下回る状況の旨説明があった。今後、大学評価の面においても入試改革の中で対応を検討していく予定である旨報告があった。

### 4 Annual Plan 2015について

議長より、2015年度行動計画として「Annual Plan 2015」を作成した旨、資料10に基づき報告があった。

### 5 平成26年度長期借入金償還状況について

萩原委員から、国立大学法人山形大学資金管理規程第11条第3項に基づき、平成26年度における長期借入金の償還状況について、資料11に基づき説明があった。

### 6 平成26年度財務状況について(速報版)

萩原委員から、平成26年度における収支決算の概要、外部資金の受入状況、附属病院の財務状況、資金残高推移状況及び管理的経費の抑制等について資料12に基づき報告があった。

### 7 平成27年度労使協定の締結について

阿部委員から、平成27年度の各事業場ごとの労使協定の締結における時間外労働時間の限度変更等について、資料14に基づき委細説明があった。

### 8 就職決定状況(平成26年度最終)について

安田委員から、平成26年度卒業生・修了者の就職状況について、資料15に基づき委細説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・ 数値は正社員としての採用であるか。(高橋委員)
- ・ 正社員とは限らない。(議長)

### Ⅲ その他

#### 1 組織評価について

吉本委員から、改めて来月の組織評価について、インセンティブを各部局に配分した後の効果等に関して、検証を行ってほしい旨、意見があった。

#### 2 次回開催（6月22日（月））について

議長から、今年度の経営協議会の開催日程について、資料16に基づき説明があり、次回は6月22日（月）に本会場にて開催することとしたい旨説明があった。

(配付資料)

前回（平成26年度第6回 H27.3.13）議事録

資料6 山形大学の中長期戦略、山形大学の大学改革（平成27～29年度）、小白川キャンパス教育組織再編の基本的な考え方

資料1-1 平成28年度概算要求事項等について

資料1-2 国立大学法人運営費交付金の在り方の改善及び28年度概算要求の方向性

参考資料1 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（中間まとめ）のポイント

参考資料2 平成28年度国立大学法人運営費交付金概算要求について

資料3 平成26年度の実績に係る組織評価の実施について（案）

資料4 国立大学法人山形大学学長選考会議規程・学外委員名簿

資料5 教員ポイントの部局別削減数及び教職員採用計画について

資料7-1 国立大学法人山形大学の中長期目標を達成するための計画（中期計画）の変更の認可について

資料7-2 中期目標・中期計画一覧表

資料8-1 第3期中期目標・中期計画（素案）

資料8-2 第3期中期目標・中期計画（素案）に関する事前相談メモ

資料9 平成27年度 山形大学入試実施状況調（学部）（大学院）

資料10 Annual Plan 2015

資料11 平成26事業年度における長期借入金の償還状況について（財政融資資金長期借入金）

資料12 平成26年度 財務状況について（速報版）

資料14 時間外労働に関する協定（平成27年度）、休日労働に関する協定、超過勤務手当支給率

資料15 就職決定状況（平成26年度最終）について

資料16 平成27年度経営協議会開催日程